

イセンドは、「いせ」と「送る」の英語「send」を組み合わせた造語です。

最新の文化財情報トピックス

◎ 歴史文化を伝える新たな拠点「伊勢市歴史博物館」
詳しくは第一面で

◎ 宮川堤桜の勉強会を開催！
詳しくは第二面で

◎ 国指定重要文化財「旧賓日館」
の写真を探しています！
詳しくは第二面で

歴史文化を伝える新たな拠点「伊勢市歴史博物館」

開館から半年。 賓日館の至宝を公開！



伊勢市歴史博物館は、今年4月の開館から、およそ半年を迎えます。本館では、考古資料や古文書などの有形文化財や、お木曳行事や御頭神事などの無形民俗文化財といった、伊勢市に伝わるさまざまな文化財を間近で見ただけです。また、開館半年の節目を彩る企画展として、9月19日(土)から郷土の日本画家・中村左洲の作品展を開催します。保存修理及び耐震補強工事のために休館中の重要文化財・旧賓日館に伝えられた作品のうち「大名行列図」や「寿鯛図」などを展示します。この機会に、左洲の名品をぜひご覧ください。

ホームページはこちら

<https://isehaku.city.ise.mie.jp/>



埋蔵文化財包蔵地の照会、確認につきましては、伊勢市ホームページの「伊勢市地理情報システム」でご覧いただけます。該当地が周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)に該当する場合や、隣接する場合には文化政策課にご連絡ください。

文化財の保護のため、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

システムのご利用はこちらから ※システムをご利用いただく際は、利用規約をご確認ください。

https://www.city.ise.mie.jp/cul_spo_edu/culture/bunkazai_shiseki/1002245.html



宮川堤桜の勉強会を開催！



宮川堤は江戸時代から桜の名所として知られており、1kmにわたり約700本の桜があります。しかし、近年は桜が衰弱し、倒れる危険がある木が増えていることから伊勢市では宮川堤の桜を再生させる為の事業を継続して行っています。その事業の一環として、6月12日に樹木医の中村氏をお呼びし、中島学区まちづくり協議会の皆様と桜の現状について知る勉強会を開催しました。宮川堤を見て回り、桜を管理し、これからも維持していく方法について学びました。

(写真)宮川堤の桜の現状について解説を行う樹木医の中村氏と解説を聞く参加者

概要 宮川堤

宮川堤は、古来より氾濫を繰り返してきた宮川の洪水から山田の町を守るために築かれた堤防です。整備・補修を繰り返し、江戸時代には、現在に近い形となりました。昭和12年(1937)には、三重県名勝に指定され、平成28年には、「土木学会選奨土木遺産」に認定されました。

国指定重要文化財「旧賓日館」の写真を探しています！

伊勢市では、令和8年度より実施する賓日館の保存修理及び耐震補強工事に向けて、昭和初期の賓日館の写真資料を探しています。

賓日館は明治20年(1887)に伊勢神宮参拝の賓客を迎える施設として建設され、多くの皇族にご利用いただいた格調高い建築物であり、昭和初期には増改築が行われました。この時期の賓日館を写した写真は、修理工事の参考資料として極めて重要なものになります。外観、内部、庭園など、どのような場所の写真でも構いませんので見つかりましたら、文化政策課までご連絡ください。



2階大広間の様子



玄関前の様子

